

- 新年度の主な事業 ……2・3面
- あらまし ……4面
- 一般会計における歳入と歳出の構成比 ……4面

2012年 (平成24年) **4月14日(土) 予算特別号**

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

平成24年度の一般会計当初予算は、前年度に比べ0.9%増の1,338億円となりました。これは、所得制限の導入による児童手当の大幅な減少があったものの、生活保護を受けられている方や、障害をお持ちの方への扶助費、国民健康保険・介護保険特別会計繰出金などの社会保障にかかる経費

や、事業進捗のピークを迎える本八幡駅北口A地区市街地再開発事業、クリーンセンター延命化などの事業費が増大したことによるものです。

新年度は、災害に強いまちづくり、新しい街づくりへの着手、これまで進めてきた事業の着実な推進という基本方針のもと、予算を配分しています。

## 災害に強い安全なまちを目指して

### 平成24年度当初予算

一般会計 **1,338**億円 (前年度比0.9%増)

特別会計 …… 762億6,900万円 (前年度比3.4%増)

公営企業会計 …… 29億1,100万円 (前年度比3.7%減)

全会計 **2,129**億8,000万円 (前年度比1.7%増)

#### 新年度予算の特徴

① 災害に強いまちづくりを推進します  
 放射能対策として放射線市民講座の開催や学校・保育園における給食検査の実施、災害に対する備えとして防災用品の備蓄や防災計画の策定などの経費を計上し、現在及び将来の安全確保に努めていきます。

② 時代に即した事業に着手します  
 防犯灯のLED化を推進し、子育て情報をリアルタイムで発信する子育て応援サイトの設置・運営、学校における情報通信技術(ICT)環境を向上させ、より分かりやすい授業を提供するための電子黒板機能付きプロジェクターや学習支援システムの整備を図り、武蔵野線沿線の街づくりに向け、土地利用の可能性について検討を始める経費などを計上し、将来を見据え時代に即した環境整備を進めていきます。

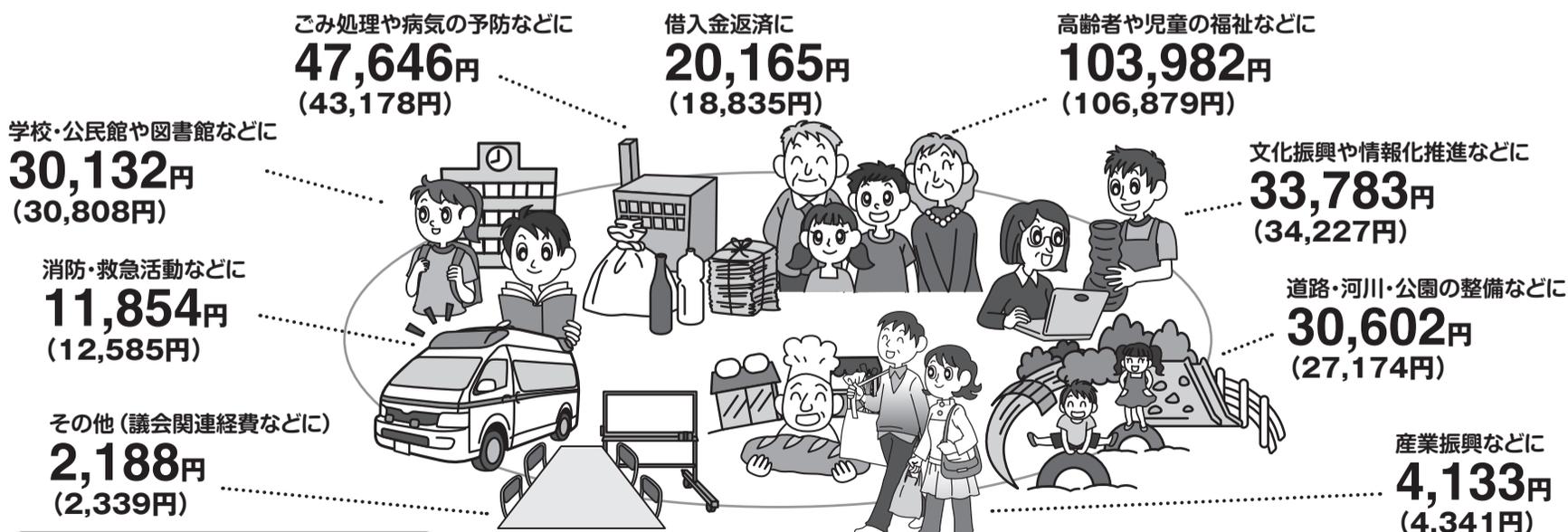
③ これまで進めてきた事業の着実な推進を図ります  
 クリーンセンター延命化事業、都市計画道路3・4・18号整備事業、本八幡駅北口A地区市街地再開発事業、公共施設の耐震補強事業など、これまで計画的に進めてきた建設事業の経費を確保し、事業の着実な進捗に努めていきます。

#### 一般会計

市民1人当たりの予算  
**284,485**円 (280,366円)

1世帯当たりの予算  
**610,335**円 (603,550円)

平成24年1月1日現在常住人口…470,323人 平成24年1月1日現在世帯数…219,224世帯 ( )内は前年度の金額



#### 23年度と比べ増加した主な予算

1位 ごみ処理や病気の予防などに4,468円(10.3%)増 2位 道路・河川・公園の整備などに3,428円(12.6%)増 3位 借入金返済に1,330円(7.1%)増